



PRESS RELEASE

2025年4月7日
株式会社新日本科学
<https://snbl.com>
(証券コード:2395 東証プライム)

株式会社ニッスイとのニホンウナギ人工種苗生産に関する 共同研究契約締結のお知らせ

株式会社新日本科学(本社:鹿児島県鹿児島市、代表取締役会長兼社長:永田良一)は、株式会社ニッスイ(本社:東京都港区、代表取締役 社長執行役員:浜田晋吾)と2024年10月よりニホンウナギの人工種苗の大量生産技術開発に関する共同研究を開始しました。2027年度をめどに、その後の事業提携の可能性を追求します。

現在、養殖用のニホンウナギは全て天然資源に依存しているのが実態です。一方で、水産庁の報告によるとニホンウナギの稚魚であるシラスウナギの採捕量は、昭和50年代後半以降低水準であり、かつ、減少基調にあります。持続的な食料システムの構築のために、農林水産省が掲げる『みどりの食料システム戦略』では、2050年までにニホンウナギの人工種苗比率100%を目指しています。

当社は2014年よりニホンウナギの人工種苗生産の開発に取り組み、2017年には人工シラスウナギの生産に成功し、2019年には沖永良部島にウナギ研究施設を建設し、天然資源と日本の食文化の保全に貢献するために、大量生産技術の確立を目指すべく研究開発を行っています。一方、株式会社ニッスイは2001年から2009年にニホンウナギ人工種苗生産の研究開発に取り組み、人工シラスウナギの生産に成功したものの、当時は多くの技術課題を解決できずに研究開発を一旦中断していました。その後、様々な養殖技術の研究開発に取り組み、2022年度に日本で初めて人工種苗100%を使用した完全養殖「黒瀬ぶり」に代表されるように、養殖技術の深化を進めてきました。

本共同研究は、株式会社ニッスイのブリをはじめとする種苗の大量生産技術等と当社がこれまでに蓄積したニホンウナギ人工種苗生産に関する技術等、両者の強みを活かすものであり、現状の生産性を高めて大量生産技術の確立を目指します。

当社は「環境、生命、人材を大切にする会社であり続ける」と掲げた企業理念のもと、企業の持続的成長に地球環境の保全が重要であると強く認識しています。ニホンウナギの大量生産技術の確立と完全養殖の実現を目指す取組みを通して、生物多様性の保全とともに、地域経済(鹿児島県はニホンウナギの供給国内1位)に貢献してまいります。

本件に関する株式会社ニッスイのニュースリリースは[こちら](#)をご覧ください。

以上

【本件に関するお問い合わせ】

(株)新日本科学 IR 広報統括部

TEL: 03-5565-6216